

# 中山間地域総合整備事業 <sup>いまづ</sup> 今津地区

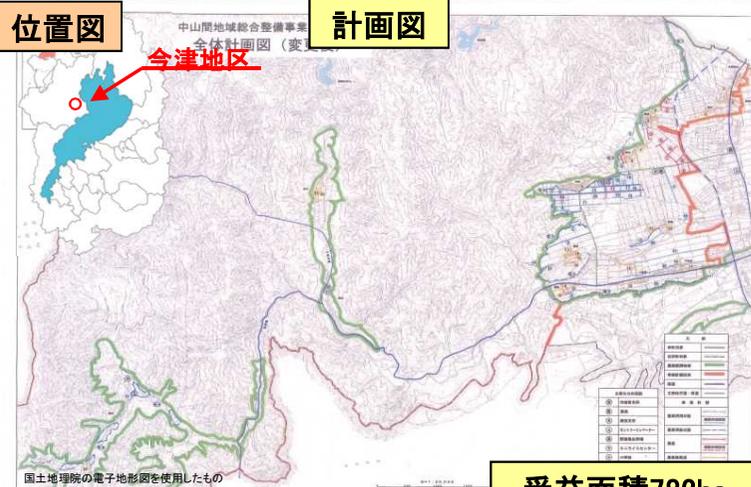
## 事業効果

用排水路や農道、獣害防止柵の整備により、農業用水の安定確保や農作業の効率化、野生獣の食害防止が図られ、農業生産性の向上や農業経営の安定化につながっている。  
また、集落道の融雪施設の整備により、住民による除雪作業が軽減されるとともに、集落道の整備とも相まって集落の日常生活の利便性や安全性が向上している。

## 地区概要

所在地：高島市  
 主要工事：  
 農業用排水路 17.2km  
 農道整備 4.3km  
 農業集落道 0.2km  
 融雪施設 12.0km  
 獣害防止柵 15.5km  
 総事業費：1,629百万円  
 工期：平成14年度  
 ～平成19年度

## 位置図



## 計画図

受益面積782ha

## 事業目的

農業生産基盤の整備や獣害防止柵の整備を行い、農業生産性の向上と農業経営の安定を図る。  
あわせて農村生活環境整備による集落環境の改善を行い、地域の活性化を図る。



整備した生態系配慮型水路と自然観察会

## 獣害防止柵(電気柵)



整備前



整備後

## 融雪施設



積雪状況



稼働状況

## 農業用排水施設

### 整備前



### 整備後



## 受益者等の意見

農道整備によって、大型の農機具が安全に走行できるようになり、より効率的な営農が行えるようになった。  
排水路の環境配慮型水路については、環境学習の場として活用しているが、土砂がたまりやすく、維持管理には手間がかかっている。  
融雪施設については、出勤前の除雪作業が軽減され、大変助かっている。

## 今後の課題

農家数の減少や農業者等の高齢化が予測される中、農村まるごと保全向上対策を活用するなど、持続可能な施設の維持管理体制を構築する必要がある。